

和歌山南ロータリークラブ週報

Rotary  WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY 2023年 12月 第4週

2023～2024年度
国際ロータリー・テーマ

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23
N-4ビル 2F
TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821
http://www.wminamirc.jp/

ガバナー	谷 宗光	幹事	岩井雅之
会長	小野正克	会長エレクト	岩本 研
直前会長	中村和子		
副会長	前嶋ヒロム		
会報委員長	植田好紀	副委員長	井口善隆
委員	石橋英二		岩橋一博 海堀 崇



例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1
ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055
例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

世界に希望を生み出そう 2023-2024年度 RI会長 ゴードン R. マッキナリー 「CREATE HOPE in the WORLD」

本日のプログラム

2023年12月24日(日) No.2946

第3003回 例会

- ソング「赤鼻のトナカイ」
- クリスマス家族夜間例会
ダイワロイネットホテル和歌山
18:00～

次週のプログラム

12月29日(金)・2024年1月5日(金) 休会

1月12日(金)

- ソング「君が代」・「奉仕の理想」
- 新年例会

会長報告

皆さんこんにちは 本日 卓話の仙石さん宜しくお願ひ致します。

どうですか？今日のネクタイ ドジャー・ブルーできめてきました。

似合ってますでしょうか？(滑った)反応なし

今年も残すところ後わずかとなくなりましたが、今年1年振り返って

どうですか、去年の週報をたまに見たりするんですが、どの写真を見ても皆マスクをかけてる写真ばかりで、今日なんかはほとんどの方がノーマスクでコロナ禍が5月に2類から5類になりコロナ禍前の生活に戻れて本当に良かったですね、ロシア・ウクライナ、イスラエルとハマス等領土の奪い合いが続いているのが非常に残念に思いますが、今年の年末年始の日本人の旅行は、海外旅行よりも国内旅行がコロナ禍前よりも多いそうですが日本人が海外に行かないと、インバウンドの外国人も日本に来る方が少ないそうです、何故かわかりますか？

海外に行く飛行機が少ないのでその飛行機に乗せて外国人を日本に連れてくれば格安料金で運べるからだと思います。

私の年度になってからの屋外での事業が10日の社会奉仕事業ですべておわりました、お天気に恵まれて、どの事業も中止・延期することなく、終わられて本当に良かったな



と感じています、10日には大林理事・越部委員長のもと、養護施設の子供達・当クラブのメンバーも含め50名近くで実行することができました。雲一つない晴天の中で山本農園さんの御協力で大きな大きなG1 ブランドの大根を収穫させていただきました、我々も日頃山本さんには野菜など頂きますが、実際に畑に入らせて頂き収穫した野菜を洗浄するところまで見せて頂き勉強になりました、養護施設の子供達や先生方にも大変喜んで頂き無事に事業を終える事が出来ました、ご協力いただいた皆様有難うございました。来週から冷え込むらしいので体調管理をしっかりして頂いてクリスマス例会でお会いできることを楽しみにしています。

以上で会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

・来週12月22日(金)の例会は24日(日)のクリスマス家族例会に変更になります。

・虎伏学園様からクリスマスツリー点灯式のお礼状と、地区から国際大会の登録早期割引のお知らせが届きましたのでニコニコ掲示板に貼っております。

・子ども食堂の募金箱を回させていただきますので、ご協力よろしくお願ひ致します。



前週の報告 2023年12月15日(金)
出席報告 会員74名(出席規定適用免除会員6名)
出席46名 ホームクラブ出席者62. 16%

四つのテスト (言行はこれに照らしてから) I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

ゲスト 紹介

出席報告



宮本親睦活動委員
本日 ゲストのご紹介



宮本出席副委員長
本日の出席報告

ニコニコ箱



本人誕生日・・・藤林君
パートナー誕生日・・・藤林君
事業所創立・・・田中(章)君
入会記念日・・・藤林君

田村君・・・次女に12月12日女の子が誕生しました。御祝。
田村君・・・母が104才で12月5日鬼籍に入りました。
粗供養。
田中(章)君・・・仙石恭ちゃんをお迎えして。
立派になりましたね。

野村君・・・先日、12月9日に壮行会をしていただいてありがとうございました。

植田君・・・あさって、4ヶ月ぶりに娘が帰ってきます。
2年4ヶ月前に注文した車がようやく納車されました。

越部君・・・養護施設の子供たちを対象とした大根収穫体験
事業は無事に開催できました。
ご協力ありがとうございました。

海堀君・・・農業体験楽しかったです。山本さんありがとう
ございました。小野会長ごちそうさまでした。

大工君・・・ゴルフ同好会12月の月例でメンバーとハンディ
に恵まれて優勝できました。もうバンカーなんて
こわくない！！

前窪君・・・先週ソングを歌わせて頂いて！

橋本忠通君・・・上西先生ごちそう様でした。

前嶋君・・・チョット良い事があって！

小野君・・・早退おわび。

計 ￥60,000-

累計 ￥1,303,569-

本日のソング



北芝ソングリーダー
「我等の生業」



委員会報告

雑誌・広報委員会
北芝昌明委員長
ラジオ放送、人間万歳が12月26
日10時20分頃有ります。
お聞きください。



本日のお食事



親睦活動委員会



卓 話

「和歌山を変える 学校づくり」

一般社団法人うつほの
杜学園設立準備会
発起人・代表世話人

仙石 恭子 様



熊野古道を世界とつながる学びの聖地へ。のスローガンの元、2025年4月開校目標に探究型グローバル小・中一貫校の設立を目標に活動をするうつほの杜学園設立準備会の学校構想と、構想から3年少しの間学校の活動軌跡をご紹介します。

「なぜ学校を？」発起人仙石恭子が和歌山から大学で上京し、教科横断の学習者が中心の探究型教育を大学で初めて受けた時の衝撃と、都市と地方の教育格差の強い実体験を感じた事、そして20年以上関わり続けるイタリア訪問の中で和歌山への地元愛と和歌山創生への貢献意欲、これらが今東京から和歌山へ家族と小さい息子を連れて帰る際に親の当事者として「グローバル教育が和歌山にない！」と感じた所から3年前にスタートしました。

うつほの杜学園設立準備会は「グローバル社会で幸せに生きる力をすべての子どもたちへ」をスローガンの元、「自らの力で未来を拓くグローバルリーダー」育成を掲げ和歌山で初となる、日本語と英語のバイリンガルで教育を行い、また現在世界で高い評価を受ける「IB国際バカロレア」の和歌山初の認可校としての小・中一貫校の設立を目指しています。

設置予定地である田辺市中辺路町旧二川小学校の近隣住民、田辺市、そして当社団の間では既に3者協定を取り交わしており、設立準備会、親御さん、教育者、行政、政治家、企業、など多様な立場の人々が一丸となって「うつほの杜学園」の設置に向けて取り組んでおり、和歌山のムーブメントとなっています。こうした通常の学校新設の枠組みを超えた体制で進んでいる「うつほの杜学園」の新たな設置は、和歌山の教育に一石を投じるのみならず、和歌山の地図の真ん中に立地し、世界遺産熊野古道の地でもあり世界と繋がる田辺市中辺路から和歌山全体の活性化にも繋がらうプロジェクトであります。しかしながら開校に向けてまだまだ賛同者が必要であり、国際的な社会奉仕団体であるロータリークラブの皆さまには、是非ともムーブメントにご賛同頂きたく思っております。

仙石恭子 一般社団法人うつほの杜学園設立準備会 代表理事／株式会社仙石

プロフィール: IB国際バカロレア教員資格 和歌山市出身。慶應義塾大学環境情報学部在学中に建築を学びにイタリア留学でフィレンツェへ。卒業後株式会社IDEEを経てイタリアのプレス会社Tanja Solci Studioで2年半ミラノで過ごす。帰国後家業の新規事業で始まったワイン輸入業を始

め、2007年よりBIANCOROSSOをスタート。2016年に東京で2店舗目を出店。ソムリエ、一児の母

《うつほの杜学園構想の概要》

- 定員:一学年25名(小学校150名 中学校75名)
- 立地:和歌山県田辺市中辺路 旧二川小学校
- カリキュラム:探究型グローバル教育(IB国際バカロレア認定校を目標)
- 学費:80-120万円(年間)+設備維持費+教材費
- 開校目標:2025年4月



拓植プログラム委員長より仙石恭子様の紹介がありました。



委員会活動報告

社会奉仕プロジェクト委員会

越部早絵委員長

養護施設の子どもたちを対象に、農業体験として「わかやま布引大根」の収穫体験を行いました。和歌山市布引にある山本会員の畑にて、12月10日曜日、雲一つない青空の下、旭学園から14名、こぼと学園から10名の子どもたち、それぞれの施設より職員8名、当クラブから小野会長を筆頭に会員10名の参加での開催となりました。

たくさん収穫するぞ！と意気込んでいる子供たちの声を聞きつつ収穫畑へ移動し、朝露をまとった畑で、大根をうれしそうに収穫する子供たちの笑顔にこちらまで元気をもらいました。畑は、柔らかな土壌で子どもでも難なく大根を収穫でき、土から出てくる大きな大根に驚きつつ喜ぶ子どもたちの元気な声が響く、楽しい体験会となりました。収穫した大根を機械で洗う工程を見学させていただいた後、シティイン和歌山会議室に移動し、金会員(わらいや)のお弁当にくわえて、「わかやま布引大根」をぜひ味わってほしいと小野会長が作ってきてくださった豚汁をいただきながら、子どもたちとの交流会を行いました。

クラブとして支援しているとはいえ実際接する機会がなかった子どもたちと触れ合えたこと、子どもたちの喜ぶ姿を目の前にしたことで、子どもたちに元気に成長してほしいと改めて思いました。また子どもたちには、これを機に地元和歌山の産物を知ってもらい、地元を誇りに思ってもらえたら幸いです。開催に際し、たくさんのご協力ありがとうございました。

